令和7年度使用中学校教科用図書 第4回採択審議委員会

日 時 令和6年8月6日(火)

10:00～12:00

場 所 佐世保市役所4階 第1委員会室

○事務局 改めまして、皆様、こんにちは。定刻より少し早いのですが、今日出席予定の方は全ておそろいですので、始めさせていただきますと思います。

ただいまから令和7年度使用中学校教科用図書第4回採択審議委員会を開会いたします。

本日は、委員10名中8名の皆様に御出席いただいております。佐世保市教科用図書採択審議委員会条例第6条第2項にのっとり、会を開催させていただきます。

本日が最後の採択審議委員会となります。本日も前回の審議委員会に引き続き、審議の上、全ての教科、領域について3者程度を決定していただくこととなります。そして、その結果を、本日13時30分から行われます前期教育委員会におきまして、委員長から御報告いただくようになっております。よろしくお願いいたします。

それでは、ここからの進行を委員長にお願いいたします。

○委員長 では、改めまして、皆さん、おはようございます。これより第4回採択審議委員会を始めます。本日が、最後の採択審議委員会だということですので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、まず、前回の審議の続きといたしまして、地理、歴史、公民、数学、理科、保健体育、英語、道徳の順で審議を行っていききたいと思います。

それでは、地理から見ていききたいと思います。地理は4者ございまして、選定委員会からは、その中で東京書籍、帝国書院、日本文教が挙がっております。もう1者、教育出版もございしますので、そこももう一度しっかりと見ていききたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、しばらく時間をとります。

〔教科書研究〕

○委員長 では、よろしいでしょうか。先ほども話しましたが、地理は4者ございまして、その中から3者、東京書籍、帝国書院、日本文教が選定委員会から挙がっております。東京書籍につきましては、スキルアップでは「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から様々な工夫がされている、帝国書院につきましては、写真の読み取り方や地図やグラフ、資料等のまとめる技術を習得することができるような工夫がなされている、日本文教

につきましては、「表現」や「自分の考えをまとめよう」では、資料を読み取ってまとめたり、学習内容を基に表現したりするための課題を設定することで、思考力、判断力、表現力等を育成することができるように工夫がされているという意見が選定委員会から出ていました。それでは、何か皆さんからお気づきの点などご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いします。

○委員 社会科の授業を学校訪問で参観させていただくと、わりと私たちが中学時代に受けてきた指導、たくさんの知識をいただくという授業が見られます。今の学習指導要領の改訂に伴って、思考力であるとか判断力とか、探究課題等を用いながら自分たちの課題で、自分たちから課題を見つけて自分たちで考えるという、そういう授業のスタイルに変わってきています。教科書の中にはたくさんの重要語句というのがあるわけですが、その重要語句をいわゆるプリントの中で穴埋め的なものを用いながら授業をされる先生方が今現在、まだ見られる中で、どの教科書会社も、ずいぶんこの探究的な学びのガイド的な役割を持たせるようなつくりに変容してきているなという印象を受けました。

その中でも、東京書籍の教科書の中で、単元の頭に基礎的な知識を踏まえた上で探究的な課題という項目、ページの半分ぐらいを使い、それぞれの単元の中で考えさせるテーマを与えられているというか、そういう構成をされているところが非常に新しい形というか、今求められている授業の実践ということでは、社会の先生ではなくても、免外で社会を担当されている先生でも、東京書籍を使うことでいい具合になるのかなというふうな印象を持ちましたので、東京書籍の一つの特長なのかなというふうに感じていました。

○委員長 ありがとうございます。今お話がありましたように、学校の中で大きく指導法が変わってきていて、大きなキーワードとして「探究学習」という、自分たちで課題を見つけ考え、自分たちで解決していく、そういう授業スタイルで授業を進めていくという意味で、東京書籍の教科書は、探究学習の課題というか道しるべとなるようなものが掲載されている。これからいろんなことを解決していく子供たちにとっては、一番いいのではないかという御意見でした。ほかに御意見等、何かございますか。

○委員 帝国書院は、資料の読み取り、委員長が先ほど言われたところを私も見たのですが、いろんな表があって、そこを見て考える力を付けていくというところが、今求められているところではないか、そういう力を付けるためにもいいのかなと思いました。どの教科書も非常に明るく、いろんな資料がいっぱいふんだんに載っているなと思ったのですが帝国の技能を磨くというところで見方、考え方を育成していく。今後の学習につながるの

ではないかと思ったところです。以上です。

○委員長 ありがとうございます。ほかに何か御意見ございますか。

佐世保市の子供たちにとりましてベストなものとはいうところで、もう少し御意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。保護者の立場としてはいかがですか。

○委員 先ほど委員が言われたように、やはり子供の立場、自主的に考えたり発言したりするというのは、親としてもすごく求めているところではあります。私も先ほど委員が言われたみたいに、教え込まれるというか詰め込み型みたいな授業で育ってきているので、「何か意見を」と言われたら、少し引っ込み思案なところがどうしてもあるかなと思います。探究的な学びを行っていく中で発言する大切さや、自分の意見を言ってそれが受け入れられなかったとしたときでも周りの子供たちも「そういう意見があるんだ」という、共感力ですかね、そういったところがやっぱり今の授業で育んでいただけると、何かよりよい環境になるのではないかなというところを強く感じているところです。

○委員長 ありがとうございます。いわゆる、探究学習や学びの道しるべがしっかりしているもの等々が、佐世保の子供たちにとっては必要ではないかという御意見でした。保護者の立場からの貴重な御意見ありがとうございました。他に御意見等、ありませんか。よろしいでしょうか。

審議委員会としましては、東京書籍、帝国書院、日本文教、この3者を教育委員会に推薦するという点について御異議はありませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○委員長 それでは、地理は東京書籍、帝国書院、日本文教の3者を教育委員会へ挙げたいと思います。

続きまして、社会の歴史になります。歴史は、東京書籍、教育出版、日本文教の3者が選定委員会から挙がってきております。ほかにも歴史は、帝国書院、山川出版、自由社、育鵬社、学び舎、令和書籍がございますので、そちらも含めてもう一度見ていただきたいと思います。それでは、時間をとりますので、確認をしていただければと思います。よろしく願いいたします。

[教科書研究]

○委員長 よろしいでしょうか。確認をさせていただきます。先ほどもお話させていただきましたが、選定委員会からは、東京書籍、教育出版、日本文教が挙がってきております。

東京書籍は、章の初めに各時代の特色を示す資料と探究課題を提示し、課題解決的な学

習に主体的に取り組むことができるよう工夫されている。教育出版は、「歴史を探ろう」では、エピソードを紹介することに加えて「トライ」で資料を基に考えさせることで、学びを深めることができるよう工夫されている。日本文教は、基本用語を分かりやすく説明するとともに、編末の「まとめと振り返り」において、既習事項を年表や地図を用いて確認することで、基礎的・基本的な知識を習得することができるよう工夫されているというところでした。

この3者について、またこの3者に限らずでも結構ですので、何か御意見がございましたらお願いいたします。

○委員 いくつかの教科書を見たのですが、まとめのところをよく見ると、東京書籍は探究課題を解決しようということで、キーワードがあるのですが、自分の言葉である程度まとめていくような形になっているので、非常に学習がスムーズに進められる。自主的な学習に、自ら主体的な学びをしながら、あとは、学び合いすることで深い学びにつながっていくような教材になっているのではないかなと思ったところです。

○委員長 ありがとうございます。地理と同様に、ここでもやはり東京書籍の場合には探究課題と探究活動というところに重きを置いた形の教科書になっていて、自学、あるいは学び合いができるような、そういう工夫がされていたということでございます。

ほかに何かございますか。

○委員 私は、自由社と育鵬社を東京書籍と比べてみたのですが、東京書籍は、選ばれただけの理由はあるなと思いました。領土問題や国境と領土、同じ箇所を見比べて見たのですが、やはり東京書籍のほうがすごく分かりやすくまとめてあり、学習課題もきちんと明記してあるので、3つ見比べた中では、東京書籍がすばらしいなと感じました。

○委員長 ありがとうございます。ほかに何か御意見ございますか。

○委員 選定委員会からの報告にもあったのですが、教育出版はレイアウトが工夫されていて子供たちに親しみやすいつくりになっているなという印象を持ちました。日本文教は、スモールステップで子供たちが学習できるように工夫されているなという印象を持ちました。

○委員長 先ほど、委員からお話がありましたとおり、まとめ方や分かりやすさという視点でいうと、東京書籍はしっかりされているなと思います。他に御意見はございませんでしょうか。

○委員 選定委員会から推薦された3者は、大体共通しているのですが、最初の単元のあ

たまの部分に、すごく大きな絵等を出されて、「このときの時代背景はどうか」や「その時代で変わったものは何か」など、そういったことを表出されるのですが、特に教育出版の最初の単元、章の頭の写真の見せ方等がとてもよく、子供たちがそこでまた考える力を、歴史への興味関心を引き出させるような表現がなされているなと思いました。帝国書院は、それを写真ではなく、絵で表現されているということが帝国書院の特長だなと思いました。東京書籍、教育出版、日本文教、帝国書院の4者に関しては、私は、子供たちの興味、関心を引く構成がされているなと思いました。

○委員長 子供たちの単元に入る、いわゆる学びの機会のところで、いろんな工夫がされているところなので、特に教育出版の場合には、単元の頭のほうの写真が非常に見やすく、子供たちが考えるきっかけになる、そういうようなもの等が工夫をされているということでした。他に御意見等、ありませんか。

よろしいでしょうか。審議委員会としましては、東京書籍、教育出版、日本文教の3者を教育委員会に推薦するという点について御異議はありませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、歴史は東京書籍、教育出版、日本文教の3者を教育委員会へ挙げたいと思います。ありがとうございます。

続きまして、社会の公民でございます。公民は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教、自由社、育鵬社の6者がございます。選定委員会からは、その中から3者ということで、東京書籍、教育出版、帝国書院が推薦として挙がってきておりますが、他の出版者の教科書も含めてもう一度見ていただければと思います。しばらく時間をとりますので、よろしくお願ひします。

[教科書研究]

○委員長 よろしいでしょうか。確認をさせていただきます。先ほどもお話をさせていただきましたが、選定委員会からは、東京書籍、教育出版、帝国書院が挙がってきております。

東京書籍は、地理、歴史と同じように、探究課題を設定しているということですね。1時間ごとの学習課題と探究課題をつなぐ問いを設けることで、スムーズに探究課題を解決できるように構成され、主体的に学習できるよう工夫されている。教育出版は、章の終わりの「学習のまとめと表現」がホップ・ステップ・ジャンプと観点別に示されており、既習事項を基に課題を追究させることで、学びを深めることができるよう工夫されているということ。帝国書院は、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」のマークが付けられ、

具体的な課題や問いを示すことで、主体的に学習に取り組むことができるように工夫をされているという意見が出ておりました。皆さんが確認されてからの御意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○委員 対話的な学びというところで、身近な問題という視点で教科書を見たのですが、ディベートであったり、例えば公営の決まり事について話し合おうであったり、やはり身近な問題について話し合う場面を実際に疑似体験しながら学びを進めるような形で書いてあるのが結構多かったなと思いました。東京書籍であったり、それから帝国書院であったり、日本文教であったり。今、新たなところで、ただ、知識だけではなくて、そういった対話により身近な問題について考えさせることで、学びを深めていくという教科書が多かったなと思ったところです。以上です。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございますか。

○委員 選定委員会から選出された3者は、それぞれの特長が表れているなど感じました。先ほどの歴史の教科書でも感じたのですが、帝国書院の単元のスタートの絵の作り込みというのがすごく、表現という意味では本当に分かりやすく、課題意識を持たせるという点ですばらしいなという思いを持ちました。ただ、日本文教、自由社、育鵬社の3者については、まとめの項目というのが割と、大ざっぱという表現でいいのかどうか分からないのですが、考えきれない子供たちはおそらく考えきれないのでしょうが、一定ガイドがないと考えきれない子供たちに対しては、非常に厳しいつくりになっている、まとめ方になっている、そのような印象を受けたところです。子供たちの実態で、それぞれの子供たちが義務教育の中で、その教室の中で一緒に学ぶ中では、やはり東京書籍の考え方であったり、帝国書院の表現の仕方であったりということが深い学びにつながりやすい教科書なのかなというふうに思ったところです。

○委員長 ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

○委員 SDGsについて、どういうふうに取り扱っているのかという点に着目して見たのですが、東京書籍は、かなり多くのページでSDGsについて触れているというのが特長としてあるのかなと。それと、帝国書院に関しては、未来に向けてという項目でSDGsや環境問題などの学習課題を示してあるということで、かなり力を入れているなという感じを持ちました。

○委員長 ありがとうございます。ほかに御意見ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。審議委員会としましては、東京書籍、教育出版、帝国書院の3者を教育委員会に

推薦するという事について御異議はありませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、公民は東京書籍、教育出版、帝国書院の3者を教育委員会へ挙げたいと思います。

次は、数学に入ってまいります。数学につきましては、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教、この7者がございます。選定委員会からは、東京書籍、大日本図書、学校図書の3者が推薦として挙がってきております。この3者も含め、ほかの教科書もしっかり見ていただきたいと思います。

特に注視していただきたい部分というのが、佐世保市の子供たちの、いわゆる全国学力状況調査の中の数学に関する課題としては何なのかと申しますと、図形とかデータの活用領域の達成がちょっと厳しい状況があるということもございますので、そういうのも加味しながら見ていただければというふうに思っております。しばらく時間をとりますので、よろしくをお願いします。

[教科書研究]

○委員長 よろしいでしょうか。東京書籍は、各項にある二次元バーコードでは、シミュレーションや対話シートがあり、ワークシートだけでは体感できない数学的活動の楽しさを実感する素材が多数用意されていること。大日本図書は、各章の「利用」の課題で、問題発見・問題解決の流れを示し、解決の過程を振り返り、新たな問題を発見することを通して、考えを深めることができるよう工夫されている。学校図書は、身の回りの事象の中から問題を発見し、考察したり性質を見いだしたりする「数学的活動のページ」を設けることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているという意見が選定委員会では出ていました。

参考に、いわゆる全国の学力状況調査の結果におきまして、佐世保市の場合に数学は結構厳しい状況にあるというのが現状としてありますので、いわゆる基本的事項がしっかりと学習できるようなもの等が個人的にはいいのかなと思いますし、いわゆる学力というのは、子供たちにとりましてはライフラインであって、これからの社会を生きていく上での生命線にもなるものだと思いますので、佐世保市の子供たちにとってどれがよいのかということ等も含めて考えていただければありがたいなと思います。

何か御意見がございましたら、よろしくお願いたします。

どうでしょうか、保護者の立場から、何か御意見があればお願したいと思います。

○委員 東京書籍は、教科書の中に二次元バーコードが豊富にあって、そういったところは今の時代の学習にマッチしていて、すごく良いのではないかというのを感じた次第です。

○委員長 お願いいたします。

○委員 学校図書の教科書を見たのですが、意外と分かりやすいなと思いました。同じデータの活用というところを、日本文教と比べてみたのですが、学校図書のほうが分かりやすいかなというふうに感じました。やはり、選定委員会で選ばれただけのことはあるなと感じたところです。

○委員長 ありがとうございます。佐世保市の子供たちにとりまして、データの活用というところが課題として挙がっておりましたので、その視点で見たときの御意見でございました。

○委員 東京書籍は、やはり見やすいし、非常にバランスがよくて、内容をよく絞り込んで教材を提示しているなというのが私の印象です。先ほど委員が言われたように、二次元バーコードがさまざまな場面で掲載されており、分かりやすくできている。よく研究されていて、よその会社よりも先を行っているなという感じがしています。また、選定委員会から挙がってきた3者以外の教科書についても、それぞれ特長があるなという印象があります。

○委員長 ありがとうございます。ほかには何か御意見はございませんか。

○委員 東京書籍と大日本図書は、人物をそれぞれの学年で入れてあるのですが、「数学は将来こんなふう役に立つんだよ」や「既習事項とこんなふうにつながっているんだよ」というようなことを間、間に入れて教科書をつくっているというのは、東京書籍と大日本図書で、子供たちに見せたい中身が充実しているなと感じました。

○委員長 どちらがより子供たちに近いと思われませんか。

○委員 子供たちにとって自然と入り込みやすいのは東京書籍のほうかなという印象です。

○委員長 ほかに何かございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

審議委員会としましては、東京書籍、大日本図書、学校図書の3者を教育委員会に推薦するという点について御異議はありませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、数学は東京書籍、大日本図書、学校図書の3者を教育委員会へ挙げたいと思います。

次は、理科でございます。理科は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林

館の5者ございまして、選定委員会からは、東京書籍、大日本図書、啓林館、この3者が挙がってきておりますので、他者も含めて確認をお願いできればと思います。しばらく時間をとりますので、よろしく願いいたします。

〔教科書研究〕

○委員長 では、よろしいでしょうか。理科でございます。理科につきましては、先ほどお話したとおり、東京書籍、大日本図書、啓林館、この3者が選定委員会から挙がってきております。東京書籍は、節のはじめの「レッツ・スタート」で、気づきを得たり、既習事項との違いによる新たな疑問を生じさせたりする問いを提示することで、主体的に学習に取り組む工夫がなされている。大日本図書は、単元のはじめに「これまでに学習してきたこと」「これから学習すること」を提示し、「思い出そう」では既習事項と学習した学年が提示してあり、学習の見通しを持たせて、主体的に学習に取り組む工夫がなされている。啓林館は、単元はじめの「学ぶ前にトライ」と単元末の「学んだ後にリトライ」において、同じ問いについて考え、自己の変容を実感することで、主体的に学習に取り組めるような工夫がされているという意見が出ておりました。

何かお気づき等がございましたら、お願いいたします。

○委員 選定委員会から挙がってきた3者を中心に見てみました。その中で、啓林館の「探Q実験」の例というのがいくつか節ごとにあるのですが、課題、仮説、仮説を持って計画を、実験の計画を立てていくという取り組み方であったり、ただ実験をするのではなく、仮説を持って実験をしたりするなど、先を見通した力をつけるような実験の仕方になっているかなということ、それから、まとめのところも非常に問題が多くて、子供たちの力が付くのではないかなと思います。大日本図書にも探究の実験などありましたが、啓林館のほうが私は良かったかなという印象を持ちました。

○委員長 ほかに御意見等ありませんか。

○委員 私も、東京書籍と啓林館と比較させていただいたのですが、東京書籍は他の教科と同じように見たら見やすく、皆さんが言われることは、そのとおりだなと思いました。私個人的には啓林館のほうがすごく見やすく、学びの仕方というのが、良かったという印象を持ちました。

○委員長 ありがとうございます。ほかに御意見等ございませんか。

○委員 私も、理科が啓林館というイメージはなかったのですが、教科書を見たら「ああ、いいな」と思いました。算数や数学は啓林館というイメージがあったのですが、啓林館の

理科がこんなに内容が充実しているのかというのが驚きでした。

○委員長 ありがとうございます。ほかに御意見等ございませんでしょうか。

○委員 やはりまとまりの点では、東京書籍が読みやすいし、課題や問題も適切だなというのを感じております。あとは、今お話がありました啓林館のほうは、いろんな説明のイラストなども分かりやすく、理科が苦手な生徒にとっても比較的入りやすいような内容になっているのかなというのを感じます。

○委員長 ありがとうございます。

今のお話では、啓林館の探究の課題や仮説等条件、先を見越した力をつける、そういう実験の仕方やまとめが非常に充実していて、子供たちの力が付いていくのではないかと。東京書籍は、全体的なまとまりの点で非常に良いという意見でした。ほかにございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

審議委員会としましては、東京書籍、大日本図書、啓林館の3者を教育委員会に推薦するという点について御異議はありませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、理科は東京書籍、大日本図書、啓林館の3者を教育委員会へ挙げたいと思います。

次に、保健体育でございます。保健体育は、東京書籍、大日本図書、大修館、学研、この4者でございました。選定委員会からは、東京書籍、大日本図書、学研、この3者が挙がってきておりますが、大修館を含めて確認をしていただければと思います。しばらく時間をとりますので、よろしく願いいたします。

〔教科書研究〕

○委員長 では、よろしいでしょうか。先ほどもお話しましたが、選定委員会からは、東京書籍、大日本図書、学研、この3者が挙がっております。東京書籍は、1時間の授業を、「見つめる」「学習課題」「課題の解決」「知識・技能の習得」「活用する・考える」「広げる」と、一連の流れによって明確にしている、そういう特長がある。大日本図書は、「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」の活動設定がなされている。学研は、課題の解決において、授業のめあてをしっかりとつかませることができるという意見が出ておりました。どこの出版者も主体的にしっかりと学んでいこうという工夫がされているようなのですが、その中で、佐世保市の子供たちにとりまして、適した教科書はどれかというところを含めて、協議をしていきたいと思っておりますので、御意見をよろし

くお願いいたします。しばらく時間をとりたいと思います。

〔教科書研究〕

○委員長 そろそろよろしいでしょうか。何か御意見ございませんでしょうか。

○委員 今まに行われているオリンピックのことで教科書を比べてみたのですが、学研が一番オリンピックについての基礎知識など、詳しく分かりやすく書いてあるなと思いましたが、ページも一番多く記載されているなという感じを持ちました。そういう意味で、学研が一番詳しく分かりやすいかなというふうに思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかに御意見等ございませんでしょうか。

○委員 大修館書店さんの教科書の内容が非常に充実をしているのかなと思います。いわゆる1時間の授業の中で細かいところというのは、自分たちで学ぶというところで、そういう意味では、一つの教材としての考え方でもあるのですが、やはり、タブレット等を使いながら、一番学ぶべき内容というのをシンプルに表示しているのが東京書籍だなと感じます。東京書籍と大修館の同じところで見比べたときに、本当に必要最低限というか、生活をしていく中でこれだけはしっかり学んでおこう、そこをもう一つ踏み込みたかったら、このタブレットを見て学ぶことができるというような構成をされているのが東京書籍だなと思いました。学研は、体育的な分野の中身は、先ほどのオリンピックの話もそうですが、結構内容が充実していると思います。東京書籍と学研の違いを見たときに、見開き1ページで全ての授業を構成しているのが東京書籍で、学研さんは必要に応じてページ数を増やしているところがあるかなというふうに思っています。そこが、子供たちにとってどちらがいいのかといたら、単元によりけりかもしれないのですが、教師側として使いやすいという部分では、東京書籍のほうかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。

東京書籍は、いわゆる学ぶべき内容をしっかりと押さえて、さらに深める工夫でタブレットを利用している、そういうような工夫がされている。それから、見開き1ページで1時間ということになると、子供たちもしっかりとそこで学習内容を押さえていくことができるということ、とっても大切なことだなと思います。そういう工夫もされているということでもあります。

ほかに御意見はございませんか。よろしいでしょうか。

審議委員会としましては、東京書籍、大日本図書、学研の3者を教育委員会に推薦するという事について御異議はありませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、保健体育は東京書籍、大日本図書、学研の3者を教育委員会へ挙げたいと思います。

次に、英語でございます。英語は、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6者が出ております。その中で、選定委員会からは東京書籍、開隆堂、啓林館、この3者が推薦として挙がってきておりますので、その3者も含めてしっかりと見ていきたいと思っております。英語につきましても、佐世保市の子供たちの、いわゆる学力の部分でいうと、国語、数学、英語、3つを比べると、英語は非常に厳しい状況が続いているという現状がございます。特に「書くこと」「読むこと」、領域の達成すべき課題になっているところもございますので、そういう点も踏まえてもう一度教科書を見ていただいて、その後、協議をさせていただければと思っております。しばらく時間をとりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

[教科書研究]

○委員長 では、よろしいでしょうか。先ほどもお話しましたが、選定委員会からは、東京書籍、開隆堂、啓林館、この3者が挙がってきております。東京書籍は、いわゆる小学校とのつながりを考慮した学習内容やポイントが整理されている、あるいは基礎的、基本的な学習の流れがしっかりと工夫されている、さらに、教科横断的な学習の手法がとられており、英語をとおして他教科について学ぶ場面が設定されているという特長があるということ。開隆堂は、各単元で習得したコミュニケーションの技能を生かせる目的や場面、状況を設定することで、いわゆる言語活動ができるような配慮がなされているという特長があるということ。啓林館は、いわゆるコミュニケーション活動の基礎となる知識・技能に十分親しみながら段階を踏んだ学習場面を設定することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるような工夫がなされているという特長があるという意見が出ておりました。皆さんから何か御意見ございませんでしょうか。

○委員 基本的に英語は得意ではないのですが、教科書を見させていただくと、東京書籍が一番見やすいかなと感じたところです。

○委員長 ありがとうございます。ほかに何かございませんでしょうか。

○委員 東京書籍と開隆堂は、巻末資料が非常に充実しているなという印象を持ちました。いろんな学習をしていく上で資料が豊富なほうがよいので、その点では東京書籍と開隆堂は使いやすいのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。東京書籍と開隆堂においては、いわゆる巻末の資料が非常に豊富であるということで、その資料を使うことによって子供たちの学習も深められるのではないかと御意見でした。ほかにございませんでしょうか。

○委員 啓林館は、実際に英文を書くことが盛りだくさんあるので、英語を書く力を付けるという点で、私は良いのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。啓林館は、子供たちの書くこと、読むことの領域にはとてもいい教材、教科書ではないかと御意見でした。ほかには何かございませんでしょうか。

○委員 小学校とのつながりというところが非常に今、英語でも大事にされているところではありますが、つながりという一つの視点に力を入れているのが東京書籍という印象を持ちました。

○委員長 ほかに御意見はございせんか。

○委員 英語、外国語の授業を熱心にされている学校は、たくさんあります。例えば開隆堂さんの、1年生の一番スタートのところは、意外と小学校、されているところは多いなという印象を持っていて、ただ、そこをもう一度基本に振り返るという考え方であれば、開隆堂かもしれません。つながりという部分では東京書籍かなと思います。

○委員長 つなぎを考慮した部分でいえば、東京書籍さんのほうが他者より力点が置かれているという御意見でした。ほかにございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

審議委員会としましては、東京書籍、開隆堂、啓林館の3者を教育委員会に推薦するという事について御異議はありませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、英語は東京書籍、開隆堂、啓林館の3者を教育委員会へ挙げたいと思います。

最後は、道徳でございます。

道徳につきましては、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教、学研、あかつき、日本教科書の7者が入っております。その中で、選定委員会からは、東京書籍、光村図書、学研が挙がってきております。前回の採択審議委員会の際に、選定委員からの報告の中で、佐世保市教育振興基本計画との関わり、また令和5年10月に発表されました佐世保市教育大綱との関わりという視点で話がありました。今回、資料として佐世保市教育大綱も皆さんのお手元に配付させていただきましたので、その点も併せて7者の教科書をもう一度見

ていただきたいと思います。しばらく時間をとりますので、よろしく願いいたします。

〔教科書研究〕

○委員長 では、よろしいでしょうか。道徳でございます。先ほどもお話をさせていただきましたが、選定委員会からは、東京書籍、光村図書、学研、この3者が挙がってきております。東京書籍は、全教材の脚注に「つぶやき」を設け、自分が考えたことをメモして話し合いに活用できるようにすることで、自ら問題を設定し、問題を解決したり、言語活動を展開したりできるよう、工夫されている。佐世保市の子供たちにとりましてのいわゆる言語活動、話し合いというところが明確になされている。光村図書は、「考えよう」や「チャレンジ問いを立てよう」という手引きを設けて、授業で何を考えていけばよいかを明確にすることで、学習のねらいに迫ることができるような工夫がなされている。どうしても授業の中で、子供たちの中には、今、何を考えないといけないのか、どうしたらいいのかというところ、そこが、ふと抜けた場合に、「あ、こうなんだ」というポイントが示されるということではないかと思えます。学研は、いのちの教育、いじめ防止を基本に、現代的な課題である情報モラル、多様性、国際理解等の内容を取り入れ、本編教材と関連が深い特設ページを設けることで、主体性を育むことができるような工夫がなされている。特に、いのちの教育、いのちについてというものが、学研が一番多かったということでした。佐世保市の場合には、「いのちかがやく強調月間」を含め、さまざまところでいのちの教育が実施されています。また、道徳の時間だけで完結するのではなくて、全教育課程の中でやっていくのが道徳でございますが、その中のいわゆる要になる道徳の時間というところからいうと、これも佐世保市の子供たちにとっては、あるいは我々大人にとっても、いのちというところは、大切にしないといけない。これらのことも十分に踏まえたいので、審議をしていきたいと思えます。御意見等をお願いいたします。

○委員 選定委員会から挙がってきた3者の中には入っていなかったのですが、私は佐世保市の教育大綱のポイントに書いてあるウェルビーイングという点に着目して見たのですが、日本教科書にだけ、ウェルビーイングカードというのがついていたので、気になりました。

○委員長 ありがとうございます。佐世保市教育大綱の中で、新たに、ウェルビーイングという部分がしっかりと打ち出された中で、道徳の教科書の中にそのことが入っているということであれば、佐世保市の子供たちにとって有効ではないかという御意見でした。選定委員会から3者挙がってきたから、それをそのままというのではなく、審議委員会でし

っかりと意見を出し合って佐世保市の子供たちにふさわしい教科書ということであれば、それを推薦していくことになりますので、そういう御意見もいただければと思っております。お願いします。

○委員 どの教科書も考えさせるというか、話し合って、どう感じたのかといったところを大事に扱っていらっしゃるところが、すごくいいなと思いました。佐世保市の子供たちに、他人の意見も受け入れられるような考え方というのか、そういったところを養っていただければすごくいい形になるのではないかということ保護者の立場から考えたところでした。

○委員長 ありがとうございます。委員が言われたことは本当に大切なことで、多面的にというか、会話の中で、いわゆる他人のことを思いやっていくこと、あるいはコミュニケーションをどれだけできるか、そういうところを育てていけるような教科書が保護者としていいなという御意見でした。今日は教育委員の皆様方が全てそろっていらっしゃいますので、そういう視点でも審議をしていただければというふうに思います。

ほかに御意見ございましたらお願いいたします。

○委員 東京書籍の最初の部分を見たら、「いじめのない世界へ」という箇所があって、いじめとはそもそも何なのか、定義づけて書かれていたので、ほかの出版者ではいじめについてどのように書かれているか見てみました。ほかの出版者は、その点についてはっきりとは書いていなくて、話しているうちに、「これもいじめではないか」ということに気づいていくようなつくりになっていました。東京書籍は、いじめについて、はっきり定義づけて書いてあったので、そこが特長だなというふうに思いながら見ていました。

○委員長 ありがとうございます。ほかの委員さんは、いかがでしょうか。

○委員 どの発行者の分もいろんな色があって、どれが一番いいか、一概には判断できないなと思いました。今回、こういう形で教科書が選ばれていくという過程を知れたことは、とてもよかったかなと思っています。冒頭に言いましたように、どの教科書にもいろんなカラーがあって、どれも甲乙つけ難いなというのが本音です。

○委員長 ありがとうございます。全て、どの教科書を使っても、問題は全くない、いわゆる国の検定を通った教科書でございますので、先ほど委員が言われたように、どれもいい教科書だと私も読ませていただいて思いました。その中で、要は佐世保市の子供たちにとって、どうなのかという視点ですね。委員の皆さん、いかがでしょうか。

○委員 本当に、どの教科書も非常に作り込まれていて、特別の教科になる前は道徳の時

間ということで、副読本を参考資料として使わせていただいていたのですが、そこはやはり教科書ということで、作り込みをしっかりとされているなと思ったのが、今、実際、選定委員会から挙がってきている3者なのかなと思いました。というのが、読み物だけではなくて、その読み物から膨らむ多様な考え方を引き出せるような教材というのが、特に東京書籍のほうがあり、似たような考え方を議論できるような仕掛けというものがされているなというのを感じたところでした。光村図書にもそういうものが、間、間にあって、本当に考えさせる教科書になるのかなと思うのですが、光村図書は、先生方の力量というものが結構必要なかなというイメージを持ったところでした。道徳の教科書というのは、いかに子供たちの考えを引き出すようなつくりになっているのかという視点で見たときには東京書籍の作り込みというのは、間の編集の仕方が、本当に好感が持てたなというふうに思いました。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 先ほど委員が言われたとおり、東京書籍のプラス（Plus）の中で探究の対話というページがあったり、話し合いをしっかりとしようというところと道徳科×SDGsいうところがあったりしました。その中には、「住みやすい社会」や「格差のない社会」「社会の一員としてどうあるべきか」を考えるような教材があるというのは、すごくいいのかな、これからの社会に出る子供たちが、生きていく中で必要なものではないかなというふうに思ったところです。

○委員長 ありがとうございます。

それでは審議委員会から教育委員会へ挙げる3者程度を絞っていきたいと思います。選定委員会からは、東京書籍、光村図書、学研の3者が挙がってきていましたが、その3者に日本教科書の分が新たに入ってきましたが、いかがいたしましょうか。

○委員 東京書籍のいわゆる、教科書として多様な考えを引き出すようなもの、あるいは、いじめに対する定義や、つぶやきなど、さまざまな工夫がしっかりとされている点はすばらしいので、東京書籍は候補として挙げていいと思います。

○委員 学研は、いのちに対しての思いや、いのちに対する項目が、多く取り上げられているという点は、やはり佐世保市の子供たちにとっては大事で、しっかりと考えさせる場面を設けることは必要であると思うので、学研は候補として推薦したいと思います。

○委員 選定委員会から挙がってきている光村図書もいい教科書だと思うのですが、手元に配付されている佐世保市教育大綱の中にもありますウェルビーイングが取り上げられて

いる日本教科書を審議委員会として推薦する方がよいのではないかと思います。

○委員長 光村図書ではなく、日本教科書を推薦したいという御意見でしたが、皆さんいかがでしょうか。特に御意見ございませんでしょうか。

それでは、審議委員会としましては、東京書籍、学研、そしてもう1者は選定委員会から挙げてきた光村図書ではなく、ウェルビーイングが取り上げられている日本教科書の3者を教育委員会に推薦するという事について御異議はありませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、道徳は東京書籍、学研、日本教科書の3者を教育委員会へ挙げたいと思います。ありがとうございました。

これで、全ての種目について審議が終わりました。最後に私のほうで、教育委員会へ挙げる3者程度を確認させていただきます。

国語は、東京書籍、三省堂、光村図書。

書写は、東京書籍、教育出版、光村図書。

地理は、東京書籍、帝国書院、日本文教。

歴史は、東京書籍、教育出版、日本文教。

公民は、東京書籍、教育出版、帝国書院。

地図は、東京書籍、帝国書院。

数学は、東京書籍、大日本図書、学校図書。

理科は、東京書籍、大日本図書、啓林館。

音楽一般は、教育出版、教育芸術。

音楽器楽は、教育出版、教育芸術。

美術は、開隆堂、光村図書、日本文教。

保健体育は、東京書籍、大日本図書、学研。

技術は、東京書籍、教育図書、開隆堂。

家庭科は、東京書籍、教育図書、開隆堂。

英語は、東京書籍、開隆堂、啓林館。

道徳は、東京書籍、学研、日本教科書です。

よろしかったでしょうか。

ありがとうございました。これをもちまして、採択審議委員会の全ての審議を終了いたします。本当に御協力ありがとうございました。

これを受けまして、教育委員会のほうに報告をしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、これにつきましては、前回にもお話がありましたとおり、31日までは非公開という形になると思いますが、十分お気をつけくださいませ。よろしくお願いいたします。

では、事務局よろしく申し上げます。

○事務局 ありがとうございます。委員の皆様、熱心に御審議いただきましてありがとうございました。先ほど委員長のほうからありましたように、この後13時30分からの前期教育委員会におきまして報告をしていただき、その後、令和7年度使用中学校教科書採択がされる運びになっております。

それでは、最後に陣内教育長が御挨拶申し上げます。

○教育長 どうも長時間お疲れさまでございました。

ここでお礼を言わせてください。5月14日を皮切りに、これまで教科用図書採択審議委員会を4回、それだけにとどまらず、研究会などにも御出席いただいておりますので、ずいぶんと時間も頂戴しました。また、昼のこの会以外も御自宅に帰られてからも、心の中、頭の片隅に教科書のことが残っていらっしやって、いろんなことを考えておられたのかなと思います。本当に長い時間、その責務を全うしていただきましたことに、感謝申し上げます。

先ほど委員がおっしゃったのですが、国が許可を出している、どれも甲乙つけ難い教科書の中で選定していく作業という言葉がありました。これが一番実感のこもった言葉ではないかな。本当に産みの苦しみを味わっていただいたのではないかと思います。その中で、委員長さんの本当に見事な進行で、佐世保市の教育大綱、それから佐世保市の教育振興基本計画、それから佐世保市の子供たちの学力調査の実態、そういったものがイメージされたり、また、何よりうれしかったのは、うちの子供がこの教科書を使うとしたら、うちの子供の頃の教科書はといった、一番身近な我が子の育ちまで考えながら、思い浮かべながら教科書を考えていただいたりして、本当にありがとうございました。皆様から、今日までにいただいた御意見をしっかりと参酌しながら、この後、私たちのほうで責任を持って、各科目1つずつ採択を進めていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

○事務局 最後に事務連絡をさせていただきます。委員長のほうから話がありましたように、8月31日までは非公開となっておりますので、資料につきましては、机の上に置いてお帰りください。資料とは別に、封筒のほうに人事発令または委嘱状のほうを入れており

ますので、そちらはお持ち帰りいただきますようお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和7年度使用中学校教科用図書第4回採択審議委員会を終了いたします。お疲れさまでした。